

2015 年 7 月 30 日  
マツダ株式会社

## 2016 年 3 月期 第 1 四半期 決算発表 主な質疑応答

### 1. 第 1 四半期の実績を説明してほしい。

グローバル販売台数は、商品改良を実施し販売が好調な CX-5 に加え、グローバル展開が進んでいる新型 Mazda2、一部市場で販売が開始された新型 CX-3 が貢献し、対前年で 16% 増加の 37 万台となりました。収益面では、為替のマイナス影響(▲57 億円)があったものの、台数増やコスト改善が貢献し、営業利益は 533 億円と、前期の第 1 四半期の 564 億円に対し為替を除けば増益となりました。

### 2. 通期見通しに対する進捗を説明してほしい。

通期のグローバル販売 149 万台、営業利益 2,100 億円の目標に対して、商品改良モデルや新型車の貢献により、販売・利益ともに高い進捗率となりました。

為替は期初計画に対し円安に推移していますが、欧州や中国の市場動向などの不透明な経済環境や新興国通貨などの為替動向を慎重に見極めているところであり、上期・通期見通しは変更していません。

### 3. 米国の販売状況を知りたい。

Mazda2 と Mazda5 の販売減を、好調な CX-5 と Mazda6 がカバーしている状況です。主力車種の Mazda3 は段階的に競争力を高め、フリート抑えながら、販売の回復を図っています。今後、MX-5 の本格導入および新型 CX-3 の導入によりポートフォリオを拡充していきます。引き続き販売環境は厳しいことが予想されますが、正価販売を継続し、インセンティブを抑制しながら下期の販売につなげていきます。

### 4. 中国市場の状況と販売施策を知りたい。

今期に入り中国市場では、成長鈍化の兆しが見えています。どの程度減速するか今後の動向を注視していきます。今後も SUV、CD セグメントを中心に競合激化が見込まれますが、SKYACTIV 搭載車の商品/技術の素晴らしさを理解、納得して頂き、正価販売を継続します。

###